



ワールドホールディングス

WORLD
HOLDINGS



Create a Sustainable World.

中期経営計画2026



2022年2月24日

世界中にあらゆる 人が生きるカタチを 創造することで 人々の幸せと社会の 持続的発展を実現する

世界中の人々が
より生き活きと活躍し生活できれば
この世界はもっと幸せにあふれ、
発展し、よりよい世界になっていく

私たちの使命は
そんな生きやすく活力あふれた社会を
創っていくことです



「働く」カタチ 人材教育

あらゆる人々に適材適所の「仕事」を探し
生き生きと働く喜びを感じてもらうとともに
教育を通して人がもつ潜在能力を引き出し
人の可能性を开花させることで
産業の発展に貢献する



「まちづくり」のカタチ 不動産

人が生活する上での基本となる
快適な「街」をデザインすることで
生き生きと生きられる環境を提供し
自然環境・地球資源を大切にした
まちづくりで社会に貢献する



「便利と安心安全」のカタチ 情報通信

新たに登場する「IT」インフラを世に普及し
人々に便利さを広めることで
安心安全な生活を送れる環境を創り
社会の豊かさに貢献する



「未来」のカタチ 農業公園

自然環境・地球資源を大切にすると共に
未来を担う子供たちの「成長」に必要な
育成環境を提供することで
社会の持続的発展を下支えする



ワールドホールディングスのサステナビリティ



前中期経営計画の振り返り（定性面）

前5年間の
事業環境

- **想定以上のカネ余り現象**によるM&A市場及び不動産バブルの継続
- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大

当社の戦略

- **拡大路線より、堅実な成長へ**
- **不動産ビジネスの適正規模の範囲内での安定化**
- **計画のローリングを含め適宜見直しを行いながら計画遂行**

大規模なM&Aによる拡大に頼らず、**自力成長により安定基盤**の構築を進めた

人材
教育

- ・ 社員の定着を最優先に取り組み、計画を上回る**採用投資・教育投資**を実施
- ・ 成長戦略を描く上での**社内IT戦略**に必要なIT会社の買収
（ワールドシステムサービス、クリエーションビュー、Wakrakのグループイン）
- ・ 事業間のシームレスな連携を図り、企業との**包括契約**や**請負化**を進め、顧客企業の真のパートナーとしての「**コ・ソーシング**」化を推進

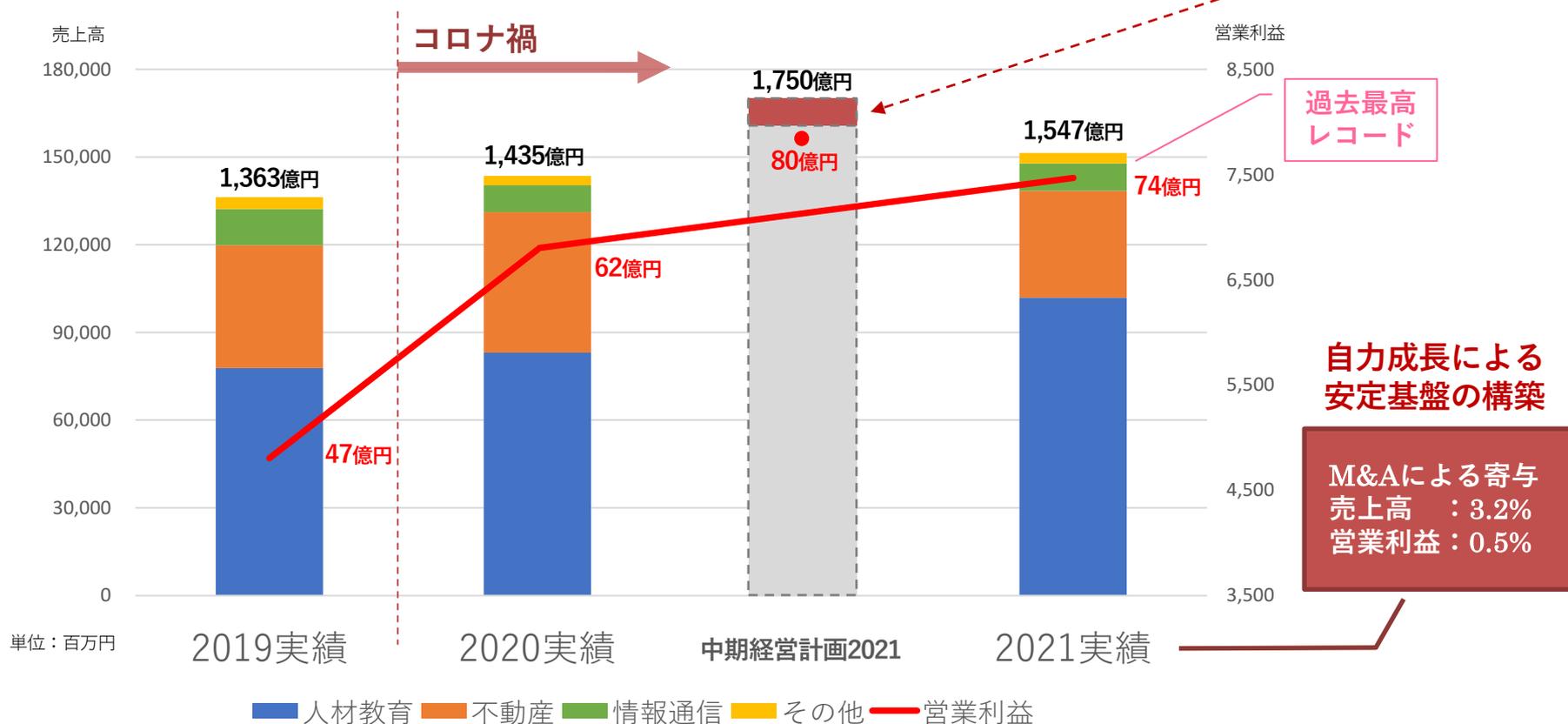
不動産

- ・ 不動産バブルの終焉が見えない状況の中、慎重な事業展開を進めながらも、**現物売買だけでなく受益権売買等**（アセットマネジメント、不動産特定共同事業、サービサー）が出来るよう事業領域の裾野を広げた

前中期経営計画の振り返り（定量面）

想定外のカネ余り現象をリスクと捉え体制作りには舵を切った為、売上高・営業利益とも数値目標には未達となるも、コロナ禍においても着実な成長を続け 過去最高の売上高・営業利益を更新

- ✓ 《利益面》 人材教育ビジネスにおいて、計画を変更し 社員の人材育成に注力・教育投資を行ったことで計画比で利益減となった
- ✓ 《売上面》 不動産ビジネスにおいて、不動産バブルが想定以上に続き慎重に進めたこと、及び子会社売却等により計画比で売上減となった



中期経営計画2026 数値目標

■ 2021年実績

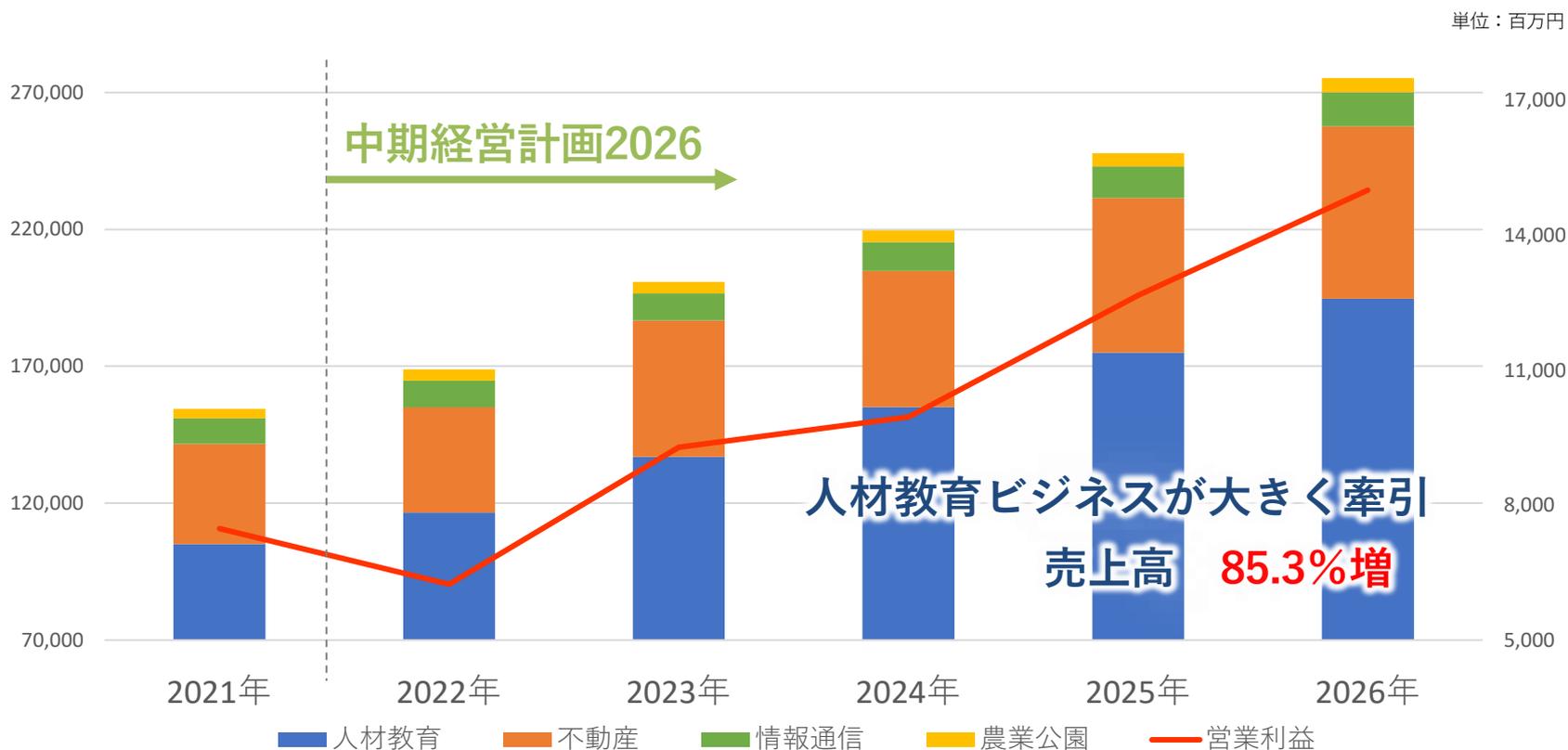
売上高： 1,547億円
 営業利益： 74億円
 配当性向： 30%



■ 2026年目標数値

営業利益2倍超へ

売上高： 2,750億円 (77.8%増)
 営業利益： 150億円 (100.5%増)
 配当性向： 30%



人材教育ビジネスにおける背景と方向性

企業ニーズの変化

外部活用の加速

コア業務以外の外部活用需要の高まりや
開発領域の多様化による
産業間・企業間の連携が加速

雇用形態の変化

ジョブ型雇用

メンバーシップ型から
ジョブ型への雇用変化が
求められるが課題は山積で
実際の移行は緩やか

労働者側の変化

働く志向の多様化

「働く」事に対する
考え方が多様化し
一つの業態やこれまでの
常識ではカバーできない

産業構造の変化

サービス業比重増

観光立国化等をはじめ
日本におけるあらゆる
サービス産業の重要度が
さらに増加

適材適所な人材を流動化できる「人材業界」が社会的に大きな役割を担う

当社の方向性

請負力

請負力で差異化を図り
顧客のよきパートナーとして
「コ・ソーシング」化を進める

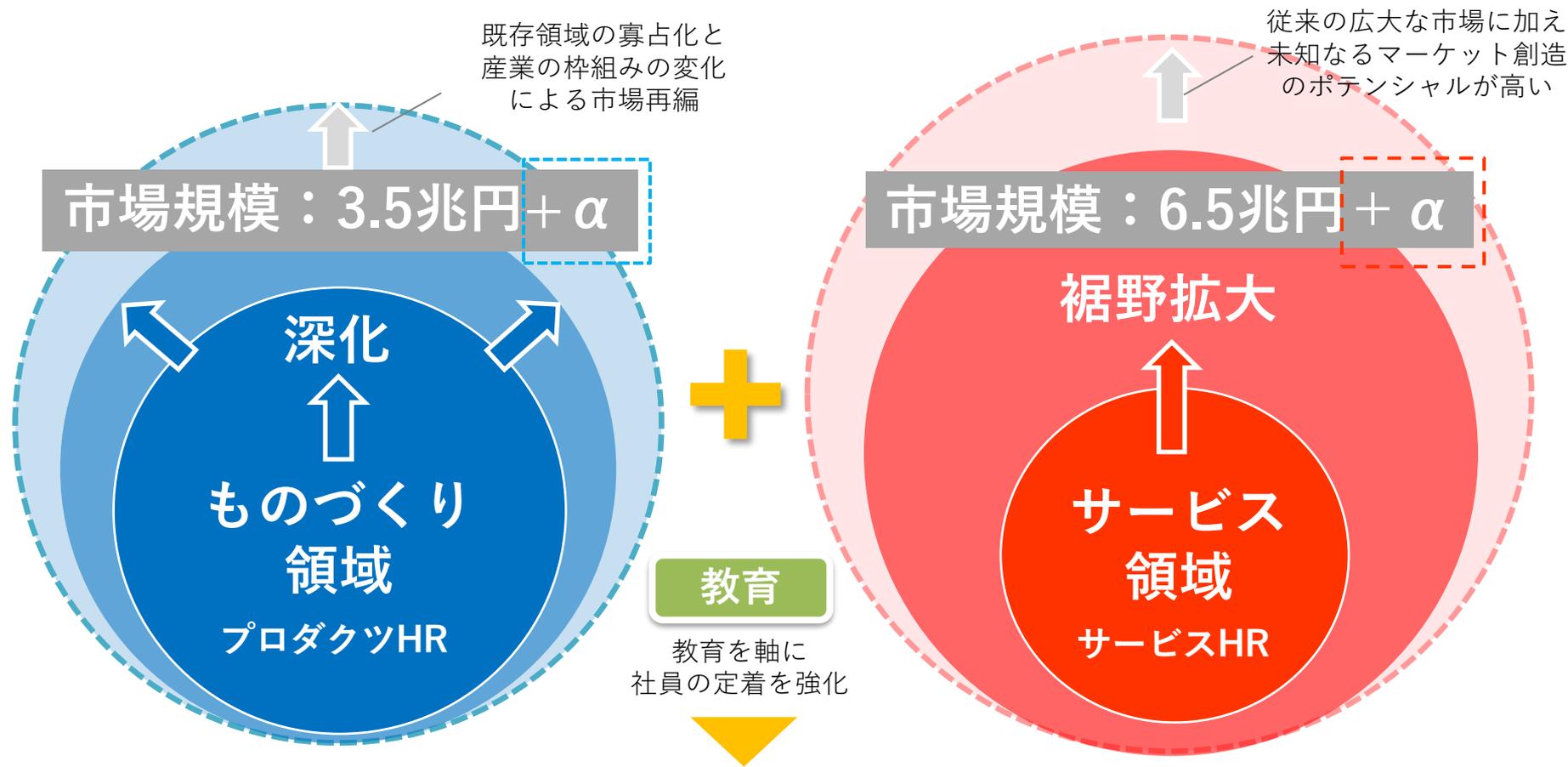
教育

当社が従来から掲げる「人材“教育”ビジネス」の名の通り
教育に更なる焦点を合わせ、学び直しの場を提供することで
雇用の変化、働く人の志向の多様化、産業構造の変化に対応

幅広いフィールド

従来の「ものづくり」分野に加え「サービス」分野も拡大することで
さらなる人材プラットフォームを形成し
あらゆる企業ニーズと働く人のニーズ、そして社会のニーズに応え
社会に必要不可欠な存在としてさらなる成長を目指す

2つの柱で幅広い領域をカバーし更なる成長を目指す

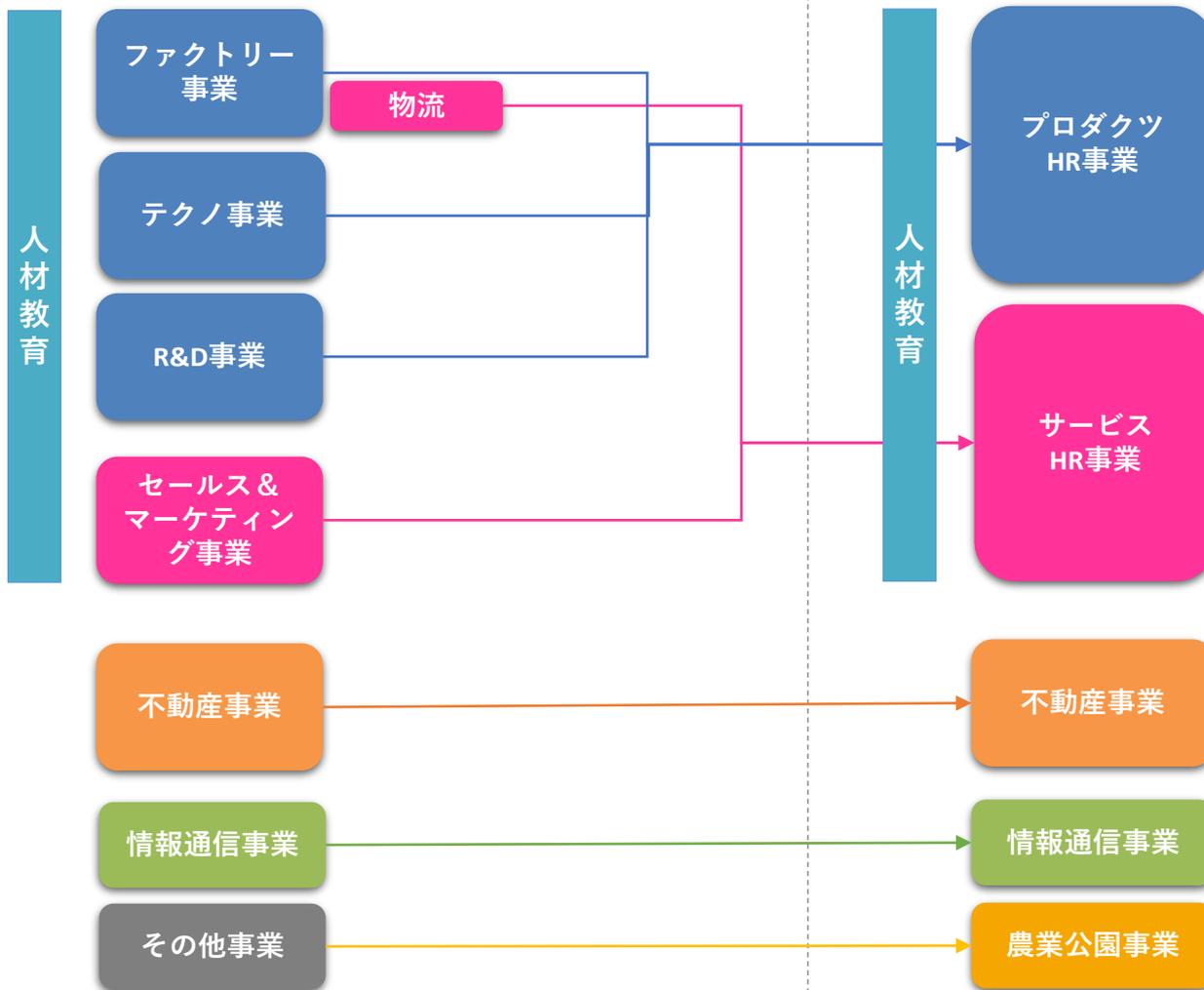


No.1 HRプラットフォームへ

戦略に基づくセグメント区分の変更

旧セグメント

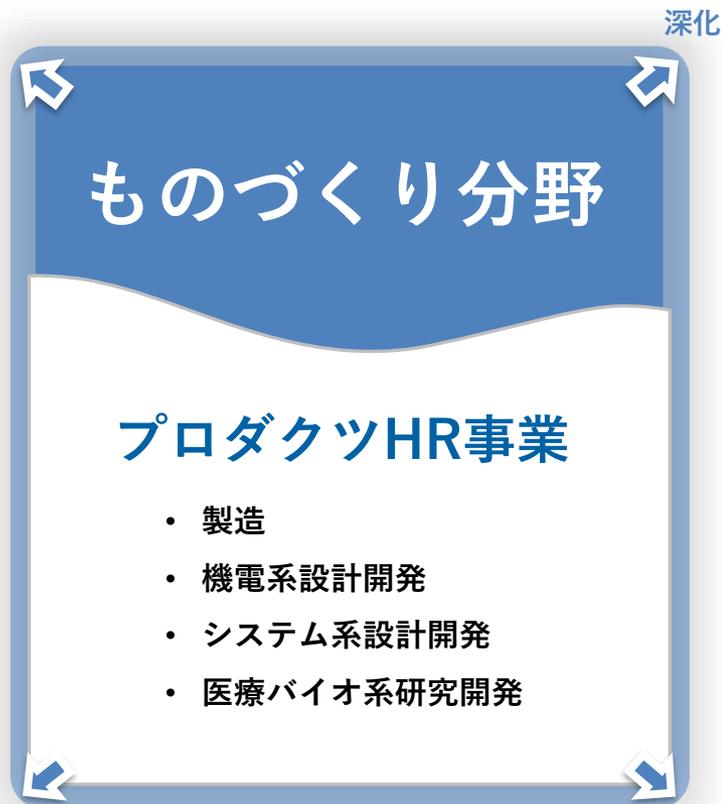
新セグメント



研究開発からはじまり
技術開発、製造までの
「ものづくり」
に関わる事業をまとめ
ブランドNo.1を目指す

物流（軽作業）
ツーリズム、接客販売
コンタクトセンター等の
「サービス」関連をまとめ
もう一つの柱として拡大

複数セグメント間の連携を進め
シナジー効果を発現



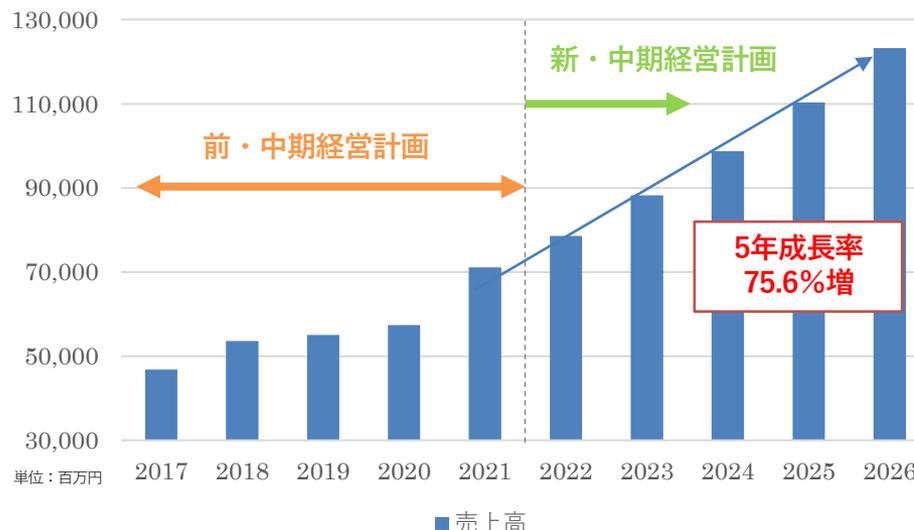
日本のものづくりを支える
「Best Assist Company」

これまでの主軸事業のさらなる深化

請負力を軸にチームでパフォーマンスを最大化させる

- ・ 企業の真のパートナーとしての「コ・ソーシング」化を進め
動員力よりもクオリティを重視し
シームレスな事業間連携で大口及び包括契約で差異化
- ・ 大手企業とのコラボレーションによる新たなマーケットの創造
- ・ 教育を軸に社員がロードマップを描ける人事制度

TOPブランドを目指す



裾野拡大

サービス分野

サービスHR事業

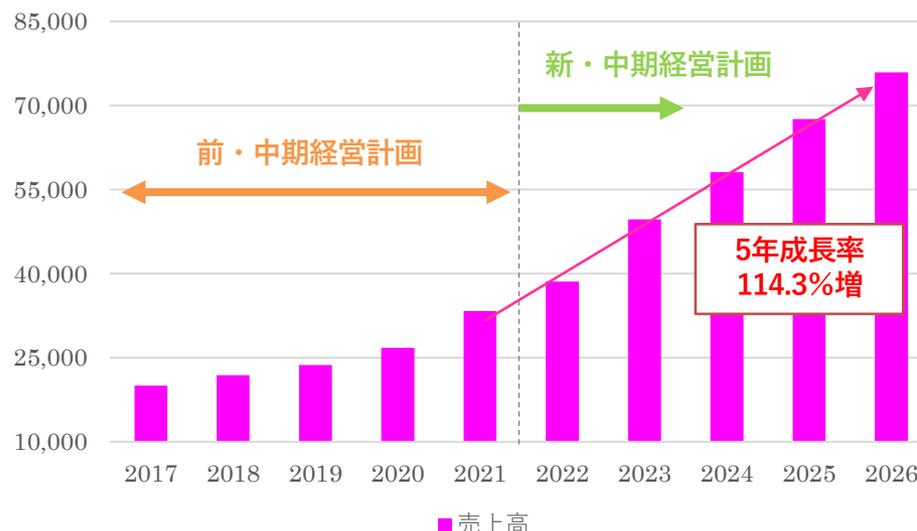
- ロジスティクス
- ツーリズム
- 接客販売

「Best Quality Cycle」
の創出

もう一つの新たな柱の構築

- **ロジスティクス**、**ツーリズム**、**接客販売**の3本柱
- 高いホスピタリティ力でクオリティでの差異化
- ロジスティクス分野で培った**コンソーシアムモデル**等の独自ノウハウを横展開し加速度的に拡大
- **大手企業とのコラボレーション**による新たなマーケットの創造

ポテンシャルの高いマーケットでの裾野拡大



業界環境

不動産価格のバブル的な高騰が継続

- マンション供給戸数の減少、高額化
- コロナ禍による居住志向の変化
- オフィス空室率の増加→賃料の下落
- 大手プレイヤーによる寡占化

先行き不透明な状況が続く中、潮目の変化の見定めが重要

当社の方向性

無理をしない適正規模での成長
強みを活かした展開で業界での独自ポジションを確立

事業用地開発

小規模土地から大規模一団土地までの
事業用地の創出は他社が真似のできない
圧倒的なノウハウと実績を持つ

無理をしない展開

他セグメントの存在を活かし
無理な事業展開をせず
好機を見定め
適正規模での展開が可能

不動産M&A

人材教育ビジネスとの連携で
事業承継に悩む企業の
社員受け入れを含めたM&Aを可能とし
独自手法での事業用地の仕入が可能

不動産と人材教育ビジネスのシナジー

これまでそれぞれ事業展開を行ってきた
不動産ビジネスと人材・教育ビジネスのシナジー創出

東急不動産とワールドレジデンシャル・ワールドスタッフィング三社による包括業務提携



変化に強い安定経営体制の構築

事業用地開発の強みを活かした現物不動産の強化に加え
不動産金融事業等の裾野を広げる

デベロップメント

- マンション開発
- 事業用地開発
- 戸建
- マンション管理

不動産再生

- リノベーション
- コンバージョン
- 地域再開発
- マンション建替



金融

- アセットマネジメント
- リート

業界環境

モバイル代理店業界における再編が加速化

通信キャリアの料金競争やオンライン専用プランの提供などによる市場や競争環境の変化に伴い店舗の役割も変化

業界の変化に対応できる代理店進化が重要

当社の方向性

事業ポートフォリオを拡大・強化し、モバイル代理店から地域のトータルソリューションパートナーへ

- モバイル店舗事業と法人ソリューション事業のノウハウを融合し、店舗外での活動増や店舗での取り扱いラインナップを増やすことで、新たなお客様との接点を増やし、さらなる地域のトータルソリューションパートナーとして進化
- モバイルショップは、残存者メリット享受に向けドミナント化を進め確実な収益体質へ

地域の生活インフラサービス拠点として、高いサービス接遇力・コンサルティング力を持つ人材を育成し、地域NO.1店舗網に

農業公園ビジネスにおける背景と方向性



業界環境

屋外志向の高まりに加え、
地方自治体が管理している公園施設の
民間への委託化が進む

当社の方向性

事業再生の実績と
自社施設保有の強みを活かし
他地域の指定管理案件等を獲得

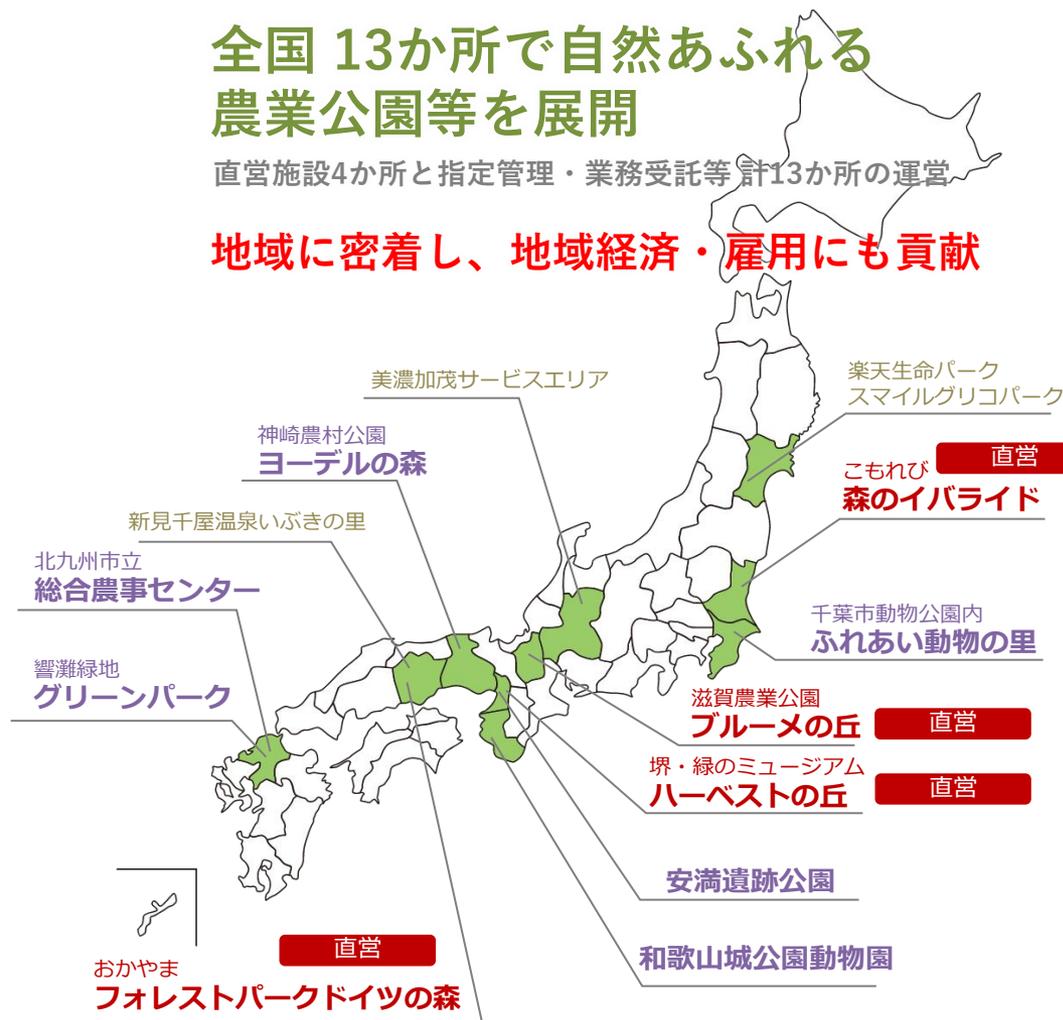
本来「密」にならない屋外施設であるので
コロナ禍のようなご時世だからこそ
その有用性を訴求し、来園者数増に繋げ

自然環境を守り地球資源を大切に
社会に貢献する

全国 13か所で自然あふれる 農業公園等を展開

直営施設4か所と指定管理・業務受託等 計13か所の運営

地域に密着し、地域経済・雇用にも貢献



Create a Sustainable World.

バランスの取れた事業ポートフォリオにより
高い成長を実現し持続的な世界を創造する

人材教育ビジネス



プロダクツHR事業

サービスHR事業

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



不動産ビジネス

不動産事業



情報通信ビジネス

情報通信事業



農業公園ビジネス

農業公園事業



変化への対応力を重視した
ビジネスモデル構築

業種分散

地域分散

フロー
ビジネス

ストック
ビジネス

人が生きるカタチ



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。
万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

株式会社ワールドホールディングス

広報IR室 西原 範朗

TEL 03-3433-6005

E-MAIL irinfo@world-hd.co.jp

URL <https://www.world-hd.co.jp/>